

2月号

第467号

いっしん

令和6年(2024年)

なるがまま
なして行くこそ
尊とけれ
神の心を
心とはして

甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師御教

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

立教165年／小倉教会布教139年／甘木親教会布教120年／加治木教会布教73年



少年少女会「鏡開き」(1/6)でゲームに熱中

(「寒中一斉信行」は、少年少女会「育成懇談会」のビデオ教話研修)

寒中一斉信行

(朝五時半と十時の御祈念の後ビデオ教話で研修)

加治木教会の「寒中一斉信行」は「報徳祭奉迎信行」と併せて、一月二十五日から二月九日にかけて実施させていただいています。

朝の御祈念時にビデオ教話を視聴し研修をさせていただきます。

そのビデオ教話は、昨年七月の加治木教会祈願祭に併せて開かれた、少年少女会連合本部が推進される「育成懇談会」での講話(下関北教会 富野孝先生)の写真ビデオです。

七十分ほどの教話を五回に分けて十分から十五分ずつに編集して、懇談会当日示された写真や資料が挿入されています。

「少年少女会活動は、教会全体で取り組む信心活動」という願いと方向性をもって活動に邁進させていただき、真の信心を育て末の安心という真のおかげを蒙らせていただき、神様も私も助かり立ち行くことができて行く活動について復習・反芻させていただきます。

甘木教会年頭参拝

一月三日

甘木親教会では、一月三日に初月例祭がお仕えになられ、年頭の御礼参拝をさせていただきました。



コロナ禍が治まりつつあり、参拝者も多くなってきたことが伺えるお広前では、月例祭後に引き続き信奉者総会が開かれ、甘木親教会

の信徒総代の方や出社教会の先生の発表があり、親先生のご教話がありました。

発表では、今年十月二十七日にお迎えする、甘木教会布教百二十年記念大祭に向けての御用姿勢やお願いなどがお話になられていました。

安武道義親先生のご教話では、

「初代は『いつも信心が進むことを願っている』と伝えられていたそうです。信心が進めば山の高い所に登ると広い眺めが見えるように、もっと広いものが心の眼で見えてくると思います。初代が晩年扁桃腺炎にかかられ、やっとのことで快復されて御用に出て来られた時に『お詫びにおわびをし通してここまでおかげを蒙らせていただいた』とのことであつたが、二代（父）は二十五・六歳で『今日（こんに）ちこんになにおかげを頂いていて、何のお詫びがあるものか』と思ったとのことであり、そのお詫びの内容がわからなかったという話をすることがありました。私どもは信心が進めばわかってくることあります。信心を進めて、今年仕えられる、甘木教会布教百二十



年記念大祭の御用を『自分がする』でなく『させていただく』という気持ちで、元気な心と体のおかげを頂いて御用におかげ蒙らせていただきますよう。」
と、お話しされました。
この後、青年会による恒例の福引がありました。

少年少女会

鏡開き

まだまだお正月気分分の一月六日の少年少女会は、神様にお供えしたお鏡モチをお下げしてみんなでいただき今年一年の無事健康を願う「鏡開き」でした。

開会儀礼後、天地のお恵みである食材を大切に使用させていただくお話しがあり、また、紙芝居の日本の民話で心の勉強をしました。続いての振り付けソングやゲームで場が和んだところで調理の開始です。



「七草」(ななくさ)の季節なので「七草粥」(ななくさがゆ)ならぬ「七種タコ焼」(ななくさたこやき)を作ります。
たこ焼の中身が、タコのほかにチーズ、ウインナー、エビをはじめいろいろな海鮮と、まさに七種(ななくさ)の美味しさを味わえるのです。



バラエティーに富んだ山海の天地のお恵みを楽しく味わわせていただきました。

焼いたお鏡餅入りのぜんざいもできあがり、楽しく美味しい会食となりました。

今の子供たちには、どうしてかせんざいよりも、タコ焼の方が人気がようです。チーズやウインナー入りのたこ焼が人気のようでした。

開会儀礼でのお話では「食事訓を唱えましょう・お風呂に入る時もお礼を申しましょう、だんだんというんなことにお礼を申す稽古をして行きましょう」と、お家でもお礼を申す稽古ができて行くことが願われます。

加治木教会

信徒会総会について

信徒会は、一人ではできない御用でも、信徒一人一人が少しずつ力と知恵を出し寄せ合って、大きな力を発揮し継続できて行くはたらきをさせていたただこうのするものです。

いわば御用のための協力隊です。

子供たちを育て信心を育成する「少年少女会」は、私どもの子孫が真の信心を継承し、真の生き方ができ、末の安心・繁昌のおかけを蒙ることができるよう導くものであります。

しかし、子供を育て導く「少年少女会」活動などは、大人の活動より経費がたくさんかかります。教材や食事や行事など多くの費用が必要となります。また教育活動ですから若い指導者の講習や勉強も必要となります。

それを子供のいる信徒も、いない信徒も、少しずつ力と知恵を出し合って行けば、大きな御用ができていきます。

皆が協力し合って、指導者や真心の深い信徒が育てば、今子育て中ではない皆さんもやがて孫やひ孫や関わりある子孫が、指導者や真心の深い信徒に、導き育てられて行くという好循環が生まれて行きます。

*

信徒会活動は「少年少女会」だけでなく、少しずつの真心の協力をもつて、信徒の皆が喜び合える、まさに神様がお喜びになられる、大きなはたらきとなる、継続的で見落としがちな、教会信徒全体を支える大切な働きです。

また「少年少女会」だけでなく、いろんな御用ができて行くことになります。

一人ひとりが、力と知恵を出し合って支えられる信徒会活動であります。

大きなお神輿も、一人ではとうていかかえ上げることができませんが大勢で勢をそろえてかかえれば、持ち上がりもしますし動きもついてきます。

今日まで、お道の中で育てをいただいできた人、また、大きな大き

な天地のお恵みとお働きを頂いてきたわれわれは、そのご恩に報いるはたらきとして、真の信心を進めて、神様のお喜びのため、信徒一同の喜びのために、真心のこもる力と知恵を出し合って行くべきではないでしょうか。

◆◆◆◆◆

四月二十二日(月)の月例祭後の共励会時に、信徒会総会を開かせていただく予定です。

信徒会の会計報告をはじめ、真心こもる知恵を出し合って、よりよい信徒会となっていくようおかけをことうむらせていただきたいものです。



菜の花

教祖様のみ教え

信心しながら次へ次へ不幸せが重なる、「なんぞのしわざではないでしょうか。なんぞのばちではないでしょうか」と言つて参る者があるが、どうして、神様がかわいい氏子に罰をお当てなさろうぞ。「心得が違うておるぞ。気をつけい」とお気づけがあるのじゃから、今までは心を改めてご信心すれば、不幸せがおかげになつてくる。叱つて教えてもらうのがあります。叱られるくらいでなければどうならぬ。「あんなものしかたがない。どうになりとなれい」と思えば、人間でも叱りはすまいが。「ごうぞ。あれが」と、ためを思うからこそ叱りもするのであるうが。

*

神様は親、人間は子、親子の情はどこまでも変わるものではないぞ。親神様は人間氏子がかわゆつてならぬので。

『尋求教語録』より

安武松太郎師のみ教え

なんで親神様が信心をやめたからというて、罰をこうむらせられましようか。それは信心がなくなつたら難を逃れきれなくなるのです。信心をさせていたただいておれば、大難は小難に、小難は無難にまつりかえて、きつと助けていただける。



ウメ

あしあと

加治木教会行事記録

令和六年

1月

- 1 (祝) ●元日祭 正午
- 3 (水) 甘木親教会年頭参拝
- 6 (土) ★少年少女会「鏡開き」10時半
- 9 (火) 清掃御用 10時
- 10 (祝) ●月例祭・成人感謝祭10時半
- 16 (火) 連合会執行部会(土曜日に)10時半
- 20 (土) ★バンド練習 19時半
- 21 (日) 清掃御用 10時
- 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
- 27 (土) ★バンド練習 19時半
- 28 (日) 連合会定期総会(聖堂)10時
- 31 (水) 清掃御用 10時

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から
親神様の御立場に立った信心に、
親神様を使う信心から
親神様にお喜びいただき
「ご安心いただき
「ご信用いただく信心に、
おかけを信じる信心から
親神様・ご神慮を信じる信心に、
改まらせていただく。」

「改まりの願い」は『安武松太郎 教話集 第十集』『私の頂く 安武松太郎師』に示されてある信心内容を要約したものです。

ご霊神様のおまじ

二月

- 桐野ケサノ之霊神(1日)昭和9年
- 桐野秋子之霊神(3日)昭和7年
- 中村照子之霊神(4日)平成15年
- 星原春雄之霊神(5日)平成24年
- 吉屋安光之霊神(8日)平成1年
- 川畑正徳之霊神(12日)昭和23年
- 矢野政美大人之霊神(12日)平成11年
- 野元和子之霊神(13日)平成30年
- 小屋敷慶二之霊神(14日)平成4年
- 川畑助太郎之霊神(18日)昭和23年
- 最勝寺剛藏之霊神(18日)昭和47年
- 平島タキ美志梅薫姫之霊神(18日)昭和52年
- 福山一間之霊神(20日)平成16年
- 川畑幸正之霊神(21日)昭和21年
- 野口ミヤノ之霊神(22日)昭和60年
- 永原初男之霊神(22日)平成22年
- 大山テル之霊神(22日)平成27年
- 平島房代美道別姫之霊神(24日)昭和6年
- 中島武夫之霊神(24日)昭和50年
- 桐野ケイ之霊神(25日)昭和2年
- 前田京子之霊神(25日)平成14年
- 山下ヒサエ之霊神(28日)平成2年
- 宮内ミツル之霊神(28日)平成13年



「先祖のご霊神様の、現世・幽界(かくくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げましょう。教会では、十日の月例祭で、霊前祭をお仕えし、「ご家族の玉串奉てんを準備をしています。」

平島房代道別姫 明治二十八年、人吉教会

教徒、北御門順次郎大人の長女として生を受けられ、東京成女高等学校卒業後、病難を人吉教会にて信心を進めおかけを蒙られました。北御門家はご神縁深く、湯前教会を開かれた北御門楠刀自、多良木教会を開かれた北御門イサエ刀自は、順次郎大人とは兄妹で房代姫の叔母に当たられます。

房代姫の夫平島只助大人は、大正十二年に甘木教会より加治木町に布教され、大正十四年に年教会設立の認可を得られ教務上の初代教会長となりました。この年の春に房代姫はお嫁に来られました。その後、教会の発展を見るに至る中に、昭和六年二月、房代姫は三人のお子様を残されて三十七才でご帰幽になられました。

加治木での布教は、容易に成るものではないこと、深い神様のお示しでありご試練でもあったのであります。

その後、平島只助大人は、昭和十九年に五十五歳でご家族・信徒の上に思いを残されてご帰幽になられ、房代姫とともに加治木布教の礎としてのお働きをなされ、ご霊神として加治木教会の奥津城に、今もお鎮まりになられお祈りお働き下されてあります。



平島房代道別姫 昭和4年5月

感 詠 (教会長)

能登地震雪降り寒さ厳しきに

どうか支援よ届けと祈り

年季入る暖房器具を使う朝

体温もり尊さを知る

あめつち 天地の働きにより巡り来る

春の訪れ植物は知り

蕾持つクリスマスローズはどんな色

咲かせてくれるか春の楽しみ

目が覚めてお礼申せる心境の

朝となるよう祈り込めゆき

楽をして手に入れたいとその果てに

戦争選びておりはしないか



ビオラ

第77回 金光教少年少女全国大会

8 / 3・4・5 ※マイクロバスで参拝。

(土) (日) (月)

8/3・4の参拝も可能
です…帰途新幹線。

鹿児島地方教会連合会そろって

いっしょに御礼参拝しましょう！

8/3AM8:30加治木教会→湧水町→ご本部(光風館泊)…8/4全国大会・パレード・わかば祭参拝→四国愛媛県内泊→観光→8/5夕帰着予定
★交通費～大人24000円・中高生20000円・小学生17000円ほど



ひとつべ！バンド

練習して「かがやけ大行進」に参加しませんか！

(楽器演奏されない方も参拝・参加、大いにけっこうです！)

※バンドの練習曲楽譜は、ホームページ「金光教加治木教会」→「少年少女会」
→「行進の練習用楽譜」でプリントアウトして下さい。

※合同練習を実施する場合は、会場・日時を随時連絡いたします。

◇参拝・参加を希望される方は、連合会青少年育成担当 矢野章(加治木教会)までご連絡下さい。
連絡先 Tel・Fax: 0995-62-2895 / Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com

鹿児島地方教会連合会青少年育成協議会

二月三日(土) 十時半より

少年少女会

節分 (お面作り・豆まき)

二月十一日(日)

加治木教会

報徳祭奉仕

引き続き 前教会長・婦人 例年祭

多良木教会長
ご教話 梅木博光先生

二月十七日(土) 出発
午前七時

甘木親教会

報徳祭参拝

引き続き 初代・二代教会長例年祭

《隣接・関係教会 報徳祭》

二月四日(日) 多良木教会 十一時

三月十七日(土) 宮之城教会 (十一時)
松井茂喜大人十年祭

教会行事

2月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (土) 少年少女会「節分」10時半
- 4 (日) 多良木教会 報徳祭 11時
- // 甘木親教会初代立日御祈念 10時
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●月例祭 10時半
- ◆月例祭は祭典のみ、あと清掃御用
- 11 (日) ●加治木教会 報徳祭 11時
- 12 (月) 矢野政美大人 立日御祈念 11時
- 14 (水) ★バンド練習 19時半
- 17 (土) ●甘木親教会 報徳祭 11時
- 18 (日) 甘木親教会「同釜会」
- 21 (水) 清掃御用 10時
- 22 (木) ●月例祭・共励会 13時半
- 24 (土) 新田原教会式年祭
- 28 (水) ★バンド練習 19時半
- 29 (木) 清掃御用 10時
- 《未定行事》青年会・若婦人会

3月

- 1 (金) ●報徳月例祭 10時半
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) ●報徳月例祭 10時半
- 13 (水) 矢野クラ刀自立日 10時半
- // ★バンド練習 19時半
- 17 (日) 宮之城教会式年祭 十年祭
- // (日) 典楽練習会 鹿兒島教会
- 19 (火) 清掃御用 10時
- 20 (祝水) ●春季霊祭 10時半
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 27 (水) ★バンド練習 19時半
- 30 (土) 31 (日)
- 御本部天地金乃神御大祭 参拝
- 4月
- 2 (火) 清掃御用 10時
- 3 (水) ●報徳月例祭 10時半

典楽練習会

三月十七日(土) 13:00・十八日(日) 10:00
鹿兒島教会にて(琴・龍笛・笙・箏・太鼓)

四月二十二日(月)

月例祭後の共励会にて

信徒会総会

会計報告・信徒会の運営について

★2月のバンド練習日は、
第二・第四 水曜日です。
練習の日程は、参加者の都合などにより変更されることもあります。